Creative Enzymes®

エリザベスキンギア・メニンゴセプティカ由来のPNGase F、組換え型

Cat. No. NATE-0604

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明	酵素学において、ペプチド-N4-(N-アセチル-β-グルコサミニル)アスパラギンアミダーゼ (EC 3.5.1.52) は、N4-(アセチル-β-D-グルコサミニル)アスパラギン残基を切断する化学反□を触媒する酵素であり、このグルコサミン残基はさらにグリコシル化される可能性があり、(置換)N-アセチル-β-D-グルコサミニルアミンとアスパラギン酸残基を含むペプチドを生成します。この酵素は加水分解酵素のファミリーに属し、特に線状アミドのペプチド結合以外の炭素-窒素結合に作用するものです。
用途	高度に精製された材料は、調製的脱糖またはゲル、溶液、またはブロット膜での分析用途に使用できます。酵素は、そのC末端の6xヒスチジン融合タグを利用して調製操作から除去できます。タンパク質の脱糖に使用されます。
別名	グリコペプチダーゼ N-グリコシダーゼ; グリコペプチダーゼ; N-オリゴ糖グリコペプチダーゼ; N-グリカナーゼ; グリコペプチダーゼ; ジャックビーングリコペプチダーゼ; PNGase A; PNGase F; グリコペプチダーゼ N-グリコシダーゼ; ペプチド-N4-(N-アセチル-β-グルコサミニル)アスパラギンアミダーゼ; EC 3.5.1.52; PNGase F; 83534-39-8

製品情報

種	エリザベスキンギア・メニンゴセプティカ
由来	E. coli
形態	タイプI、凍結乾燥粉末; タイプII、緩衝水溶液、50% (v/v) グリセロールおよび50% (v/v) 20 mM リン酸カリウム、pH 7.5で300ユニット/mLの酵素として供給。タイプIII、緩衝水溶液、20 mM トリスHCl、pH 7.5、50 mM NaClおよび1 mM EDTAの溶液として供給。
***EC**番号*	EC 3.5.1.52
***CAS**登□番号*	83534-39-8
分子量	mol wt ~36 kDa
単位定義	1ユニットは、37°C、pH 7.5でSDS-PAGEによってモニタリングされる条件下で、1ナノモルの□性リボヌクレアーゼBからN-結合オリゴ糖の放出を1分で触媒します。Creative EnzymesのPNGase F活性の1ユニットは、1 IUBミリユニットに相当します。

使用法とパッケージング

包装	PNGase Fは、スタチンがP-グリコプロテインに与える二重の影響と、それがヒト神□芽腫細胞におけるドキソルビシンの細胞毒性に与える影響を調□する研究で、P-グリコプロテインの脱糖鎖化に使用されました。これは、定量的免疫プロット分析に使用する前に、精製されたタンパク質であるマウスコーン紫外線（MUV）色素の処理に使用されました。これは、N-結合糖タンパク質の脱糖鎖化に使用されます。高度に精製された材料は、調製脱糖鎖化や、ゲル、溶液、またはブロット膜での分析用途に使用できます。この酵素は、そのC末端6xヒスチジン融合タグを利用することで、調製操作から除去することができます。

保管・発送情報

保存方法	2-8°C